VGC-3352（H）+VKC-5052（H）型-R（単棟）

建築面積	42.46m²（12.84坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

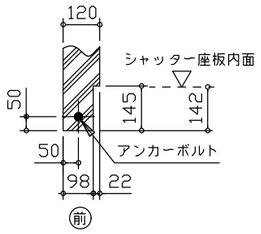
構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□-85 x 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後柱	⊏-115 x 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中柱（左右）	□-85 x 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
桁前	⊐-336.5 x 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	⊏-182.5 x 79	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	⊏-155 x 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
壁パネル	⊂-25 x 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
桁前（PU）	⊏-228 x 49.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁（PU）	⊐-194 x 49.5	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁補強（PU）	⊏-194 x 36.5	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
梁（P）	⊐-287.5x139	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
前柱(P)・後柱(P)	⊡-85x118	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	165.9
中柱(P)	⊡-85x145	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	151.5

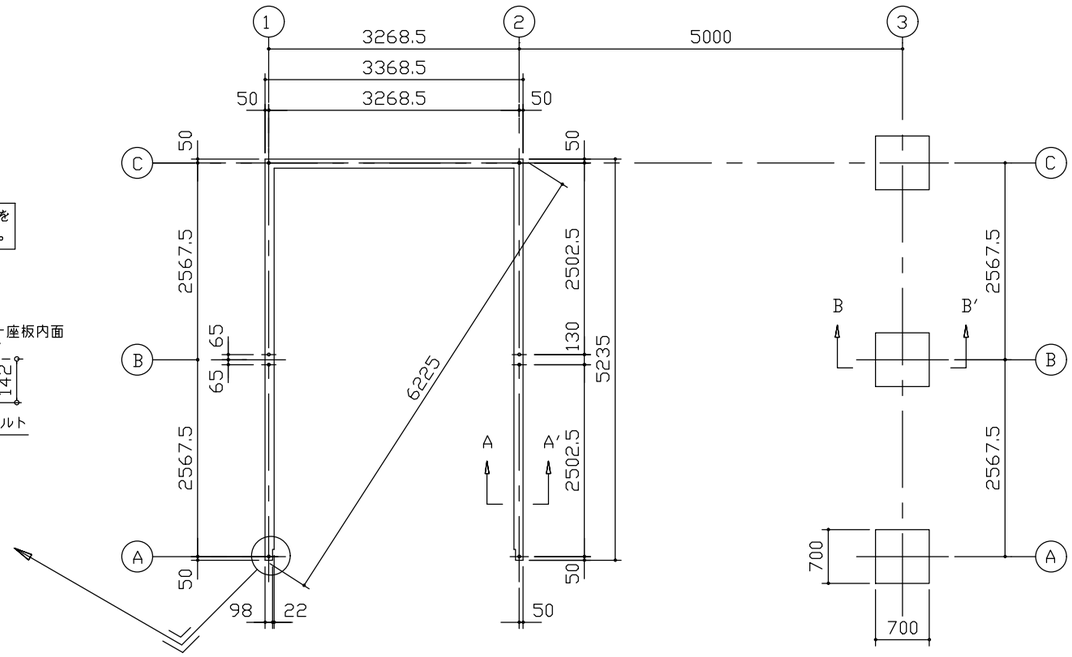
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	⊏-430 x 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下枠	⊓-81 x 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	⊂-26 x 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間柱	⊏-31 x 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋根	〰 -88 x 600	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	⊂-14.5 x 71	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	⊂-130 x 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し後	⊏-122 x 48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）
ケラバ	⊏-130 x 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

シャッター降下面は土間を水平に仕上げてください。



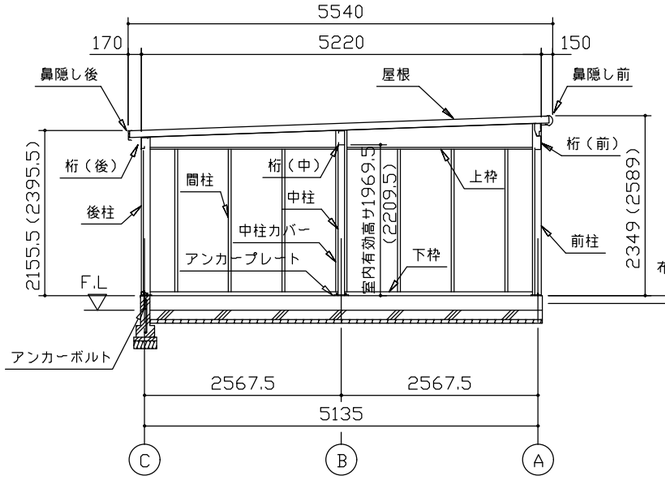
シャッター部分詳細図
（S =1/20）



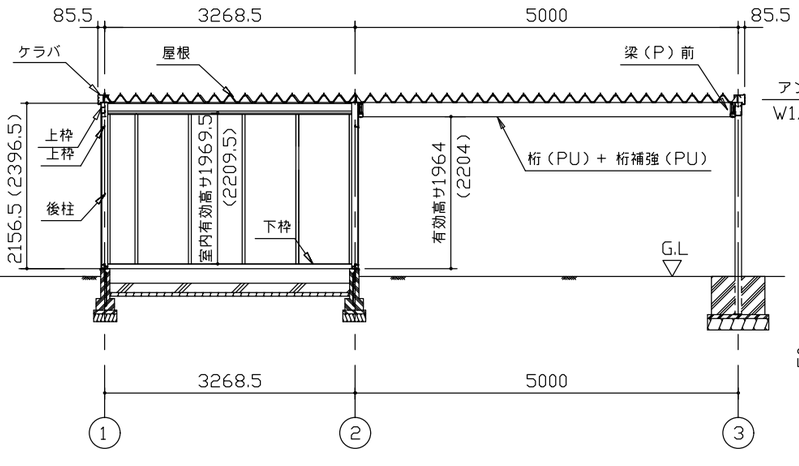
布基礎伏図（S=1/80）

・布基礎断面図　縮尺=1/20
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm²以上
基準風速 34m/s，地表面粗度区分Ⅲ）

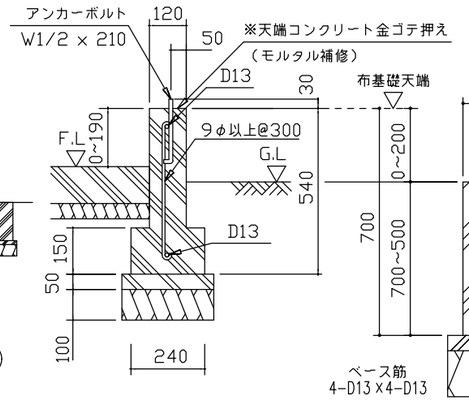
＜上記条件での参考図です。＞
注1）地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。
注2）寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情にあわせて設計して下さい。
注3）その他現地の実情にあわせて設計して下さい。



側面断面図（S=1/80）

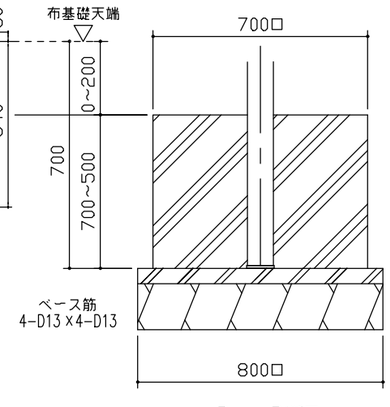


正面断面図（S=1/80）



A ~ A′断面

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



B ~ B′断面

名称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VGC-3352(H)+VKC-5052(H)型-R(単棟)	